

令和5年度 南陽市学校・家庭・地域の連携・協働推進事業 意向調査アンケート結果

1 アンケート対象 市内小中学校10校(回答率 70%)

2 地域学校協働活動推進員及びボランティアの支援により教員の負担軽減を5段階で判定するとの程度感じることができたか

⇒平均 4.4

3 意見等

(1)地域学校協働活動に取り組み良かったことを教えてください。

- ・地域学校協働活動の中心としてネットワーク事業を活用することにより、地域と学校の取組に一体感が生まれました。
- ・本校の教育活動における環境整備については、教員のみでは時間的にも難しい面があるため、大変感謝している。特に、本校の図書館経営については、環境整備や蔵書の管理や整理作業などを定期的実施していただいた。また、花壇の整備をしてくださる方や家庭科の学習でミシンを使う際に支援を行ってくださる方を「ミシンボランティア」として募り、実施していただいた。
- ・地域とのつながりが強まり、学校を支援してくれていると実感を感じた。
- ・地域の外部講師との連絡調整が円滑に行えるようになった。
- ・地域の外部講師を招聘しての活動において、推進員の協力により準備や当日の運営の教師の負担が減り、より活動のねらいに近づくことができた。
- ・職場体験学習や地域ふれあい体験講座など、地域の方々との事前連絡や新しい関係づくりで推進員の方にはご活躍いただいた。
- ・今年度、学校環境ボランティアと学習ボランティアを募り、来年度より本格的に地域の方々より協力いただける体制が整った。今年度末には、取り組みの始めとして、清掃ボランティアに入っただき、大掃除週間に児童と一緒に清掃活動を行ったが、児童減少により日常的に掃除が行き届かない場所がきれいになり、大変ありがたかった。また、ボランティアの方々自主的に環境美化を図るためのアイデアを考えてくださり、実践に向けて取り組みもうとしており、教師の負担が軽減されるきっかけとなっている。

(2)次年度以降の課題や要望事項など、自由にお書きください。

- ・地域学校協働活動推進員の勤務を増やしていただくことで、ネットワーク事業をより一層円滑に活用できると考えております。

- ・次年度も引き続きお願いしたいと思っております。回数がさらに増えると、教育活動が充実します。
- ・生徒が地域の方と地域づくりを行っていけるような学校外の受け皿があるとさらに活性化されと考えます。
- ・推進員に職員と同じく校務用パソコンを用意していただきたい。
- ・勤務時間にもよりますが、推進員が給食をとることも可能にしていきたい。
- ・これまで行っていた読み語り・図書館・クラブ活動・花と緑のボランティアに加え、昨年度から始まった「見守りサポーター」の活動が軌道に乗ったことで、子どもたちにとってボランティアがより身近なものとなった。また、常にボランティアの方がいらっしゃる環境は、子どもたちにとっても安心・安全な学校づくりになくてはならないものとなっている。
- ・課題は特にございません。今年度の活動を継承・発展させていきたいです。
- ・他校ではどのような取り組みを行っているのか、推進員がどのような活動をしているのかを知りたい。他校では学習支援ボランティアが入り、効果をあげていると聞いている、本校でもよい取り組みは取り入れていきたい。推進員の研修会を行い、進んでいる地域の実践を学べるとよりよい活動につながるのではないかと思います。
- ・本校では来年度の重点の一つとして、読書活動の推進をあげており、読み聞かせボランティアと連携を図りながら取り組んでいく。また、年齢の高い方が多数ボランティアとして協力していただくため、活動後の情報交換も大事にしながら、地域の活性化につなげたいとの要望がある。これらの取り組みが成果をあげられるよう、柔軟に運用できるような予算措置をお願いしたい。